



川中だより

令和5年9月29日(金)発行

新発田市立川東中学校

学校だより 第6号

TEL (25)2011 FAX (25)2022

<https://kawahigashi-j.shibata.ed.jp/>

校長 清水 謙一

9月17日(日)に、東京都台東区にある東京新潟県人会館にて川東中同窓会東京支部総会と懇親会に井伊同窓会長と校長が来賓としてお招きいただき、出席してまいりました。東京支部の会は、今まで4年に1回、オリンピックの年に開催していましたが、コロナ禍のため今年は7年ぶりの開催となりました。今回の会には、東京都や埼玉県、千葉県などから57名の同窓生の皆様が集まり、再会を懐かしむとともに、同窓会東京支部の一層の団結と親睦を図ろうとされていました。

会の中で校長の私からは同窓生の皆様に現在の川東中学校について以下のことを話しました。

- ① 現在、川東中学校は全校生徒85名と少ないながらも、生徒たちは素直で明るく、学習や部活動など何事にも意欲的に日々学校生活を送っていること。
- ② 古くなった校舎を、今年の7月から長寿命化改修工事を行い、徐々に新しく生まれ変わっていること。
- ③ これからも川東中学校職員一同の力を結集して、立派な社会人として活躍できる生徒を育成していくこと。 など

懇親会では同窓生お一人お一人から近況報告という形でスピーチがありましたが、どの方も郷土や川東中に対する熱い思いと愛情を感じるお話を聞くことができました。また、お話しさせていただいた同窓生の方からは、「これから卒業する生徒達に、遠い東京(関東圏)の地で頑張っている先輩がいることを伝えてほしい。そして、もし後輩達が故郷を離れ、東京に出てきた時に不安なことがあれば何か役に立ってあげたい」と心強い言葉をいただきました。改めて川東中学校が多くの皆様から支えていただいていることを実感すると同時に、生徒達が立派な社会人として地域に貢献できる人材に育っていくよう保護者、同窓会、地域の皆様と連携していきたいと思っております。



実は、今年のお盆の時期に私自身が20歳代のころに勤務していた魚沼市の堀之内中学校の42歳になる教え子達の同級会に招かれ、参加してきました。参加した60名近い教え子達とお酒を酌み交わしながら懐かしい思い出話に花が咲き、いろいろな話がありました。教え子達と話をしていく中で、当時いかに自分自身が未熟であったかを痛感しながらも、今でもそんな私を先生と呼び、慕ってくれることに感謝の気持ちを持ちました。

今在籍している85名の生徒達も、生涯に渡り川東中学校の思い出が大切な存在として残るためにも、学習や部活動、学校行事などを通し充実した学校生活を送ることができるよう努めてまいります。